

WAMNET利用状況調査 報告書（概要版）

平成19年9月



独立行政法人福祉医療機構

1) 調査目的

- WAM NETの一般向けコーナーへの利用者属性と利用実態の把握と、利用者がWAMNETをどのように評価しているかという内容の評価を聞くことを目的とする。
- 本調査は多少の内容変更を行いながら2003年から継続的に実施しており、定点観測としてWAMNETの利用状況がどのように変わっているかを確認することも目的としている。
- 今年度にはWAMNETの「利用開始時期」に関する設問を加えて利用経験年数を確認した。また、「メール配信」に関する設問も加え、今後のサービス開発につなげることとした。

2) 調査概略

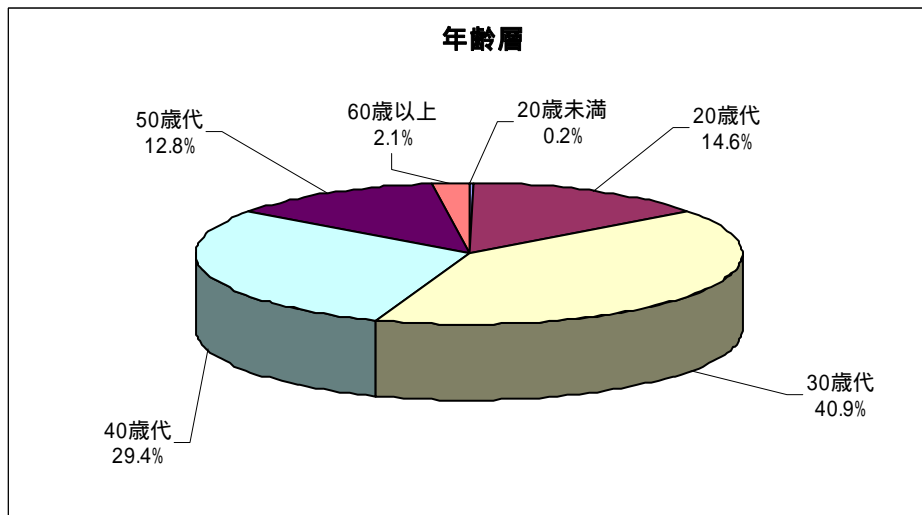
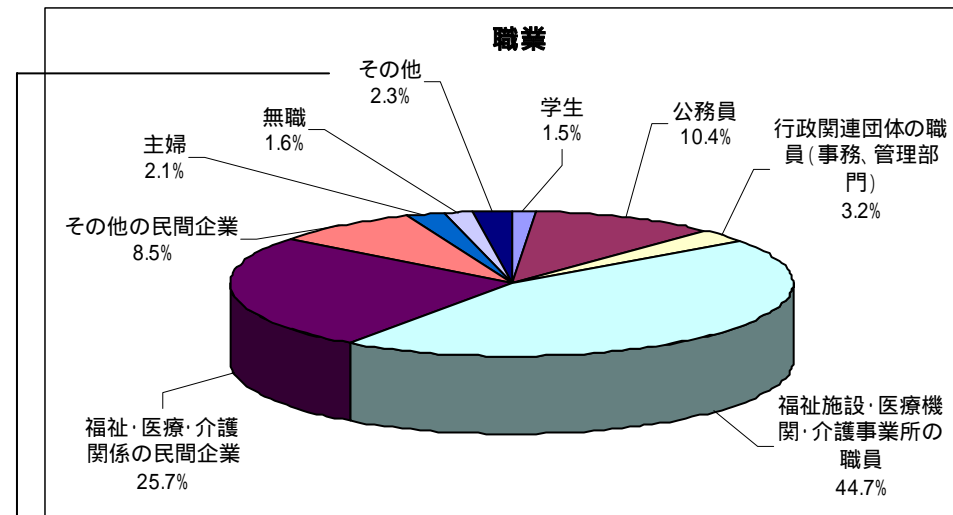
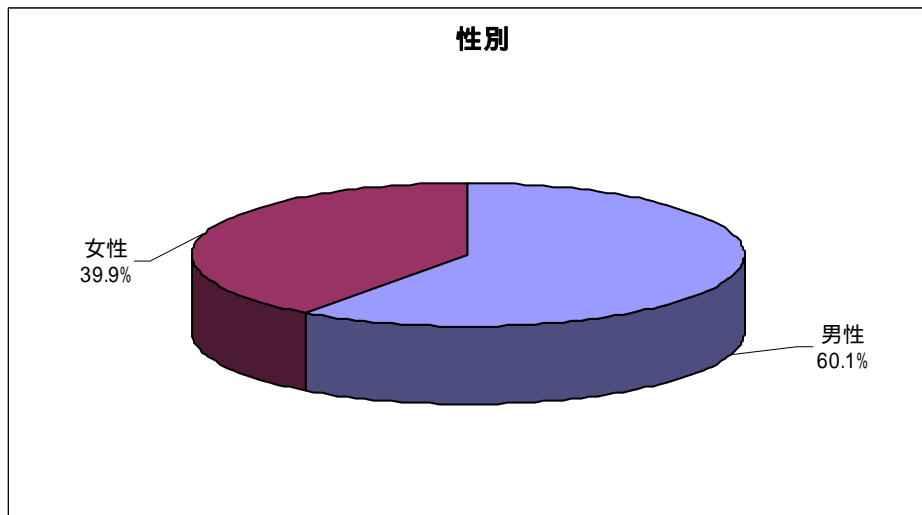
調査は下記の方法で実施した。

- 調査実施期間 : 2007/8/8(水) ~ 2007/9/12(水)
- 調査実施方法 : WAMNETトップページに「アンケート協力依頼」のバナーを設置して、Web上でアンケートを実施した。
- 対象者 : WAMNET利用者全員
- 回収数 : 総回収数1,033サンプル、有効回答数1,028サンプル、有効回答率99.5%
- 調査主体 : 独立行政法人 福祉医療機構 情報事業部 WAMNET事業課
- 過去の回答者数の推移: 下記の表のとおり。

年	回答者数
2003年	636人
2004年	643人
2005年	653人
2006年	925人
2007年	1,028人

<2> 回答者の基本属性

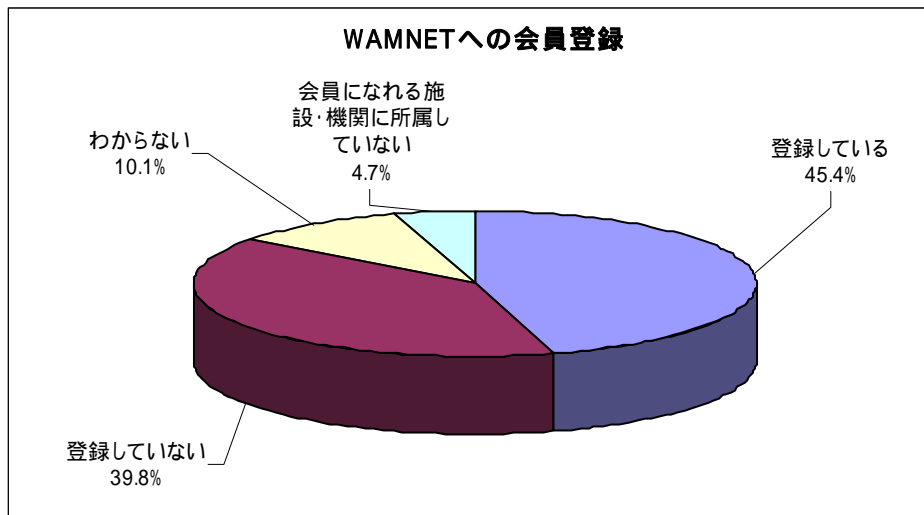
1) 基本属性



その他の職業

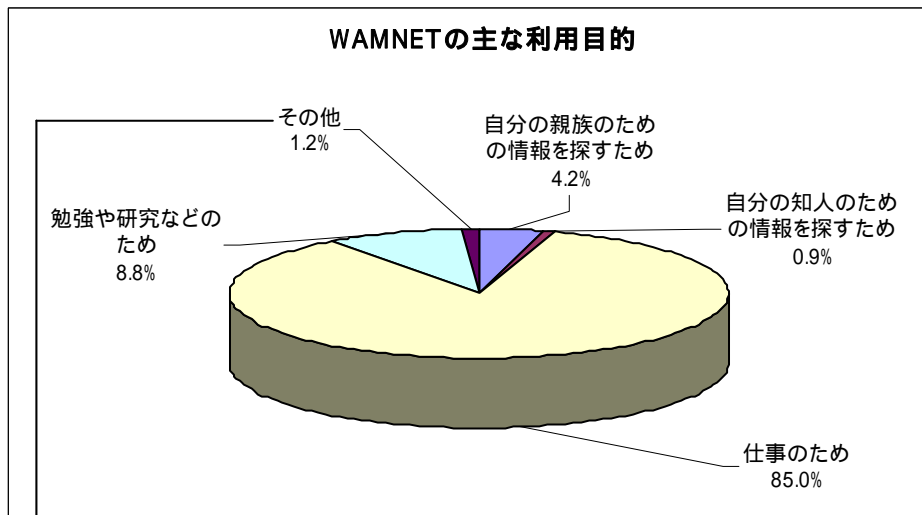
NPOパート職員	教員
NPO法人理事	権利擁護ボランティア
ソフト開発者	行政書士
ダンスインストラクター	社会福祉協議会
メーカー勤務	社会保険労務士
介護事業所役員	小規模多機能施設申請活動中
学校職員	大学職員
看護学校職員	独立型社会福祉士事務所

WAMNETへの会員登録状況



< 3 > WAMNETの利用状況に関して

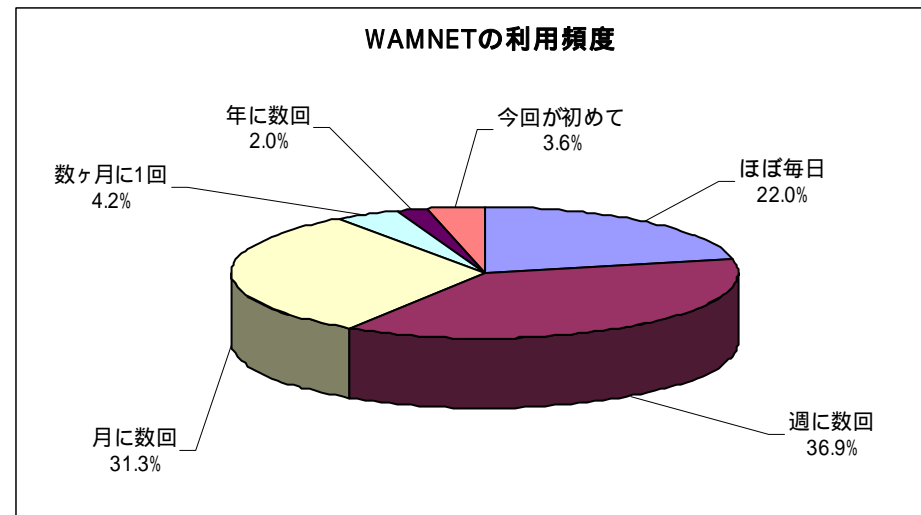
1) 主な利用目的



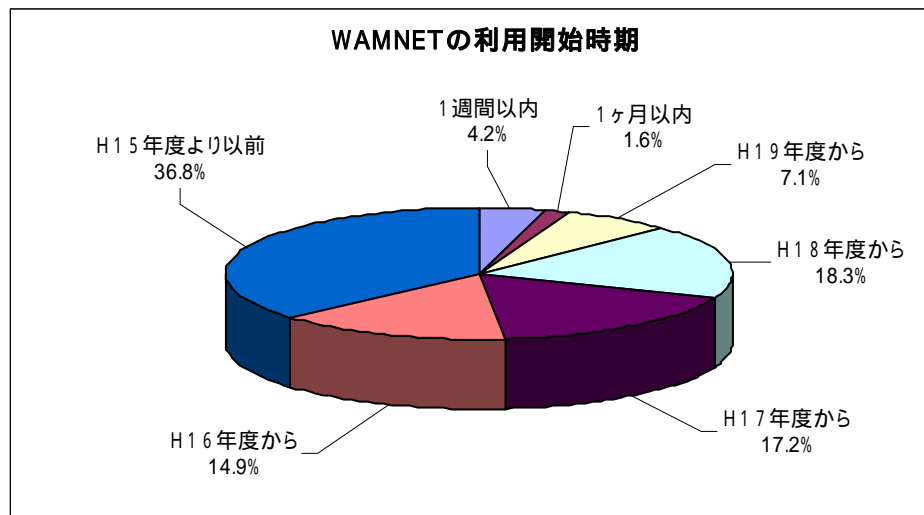
その他の利用目的

ソフトウェア開発のため
事業報告のため
自分のため
自分のための情報を探すため
社会福祉主事の法律
就職先の情報
情報を得るため
情報収集
入居相談時の情報として活用

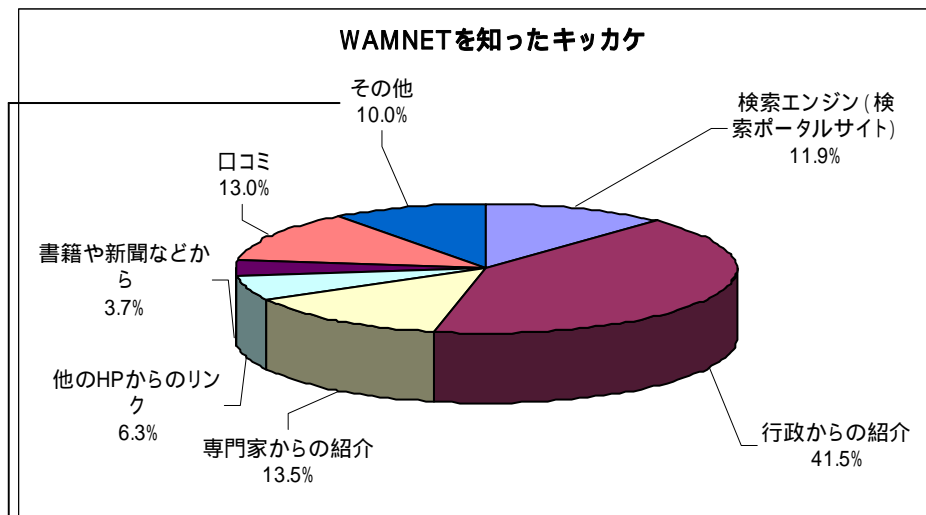
2) 利用頻度



3) 利用開始時期



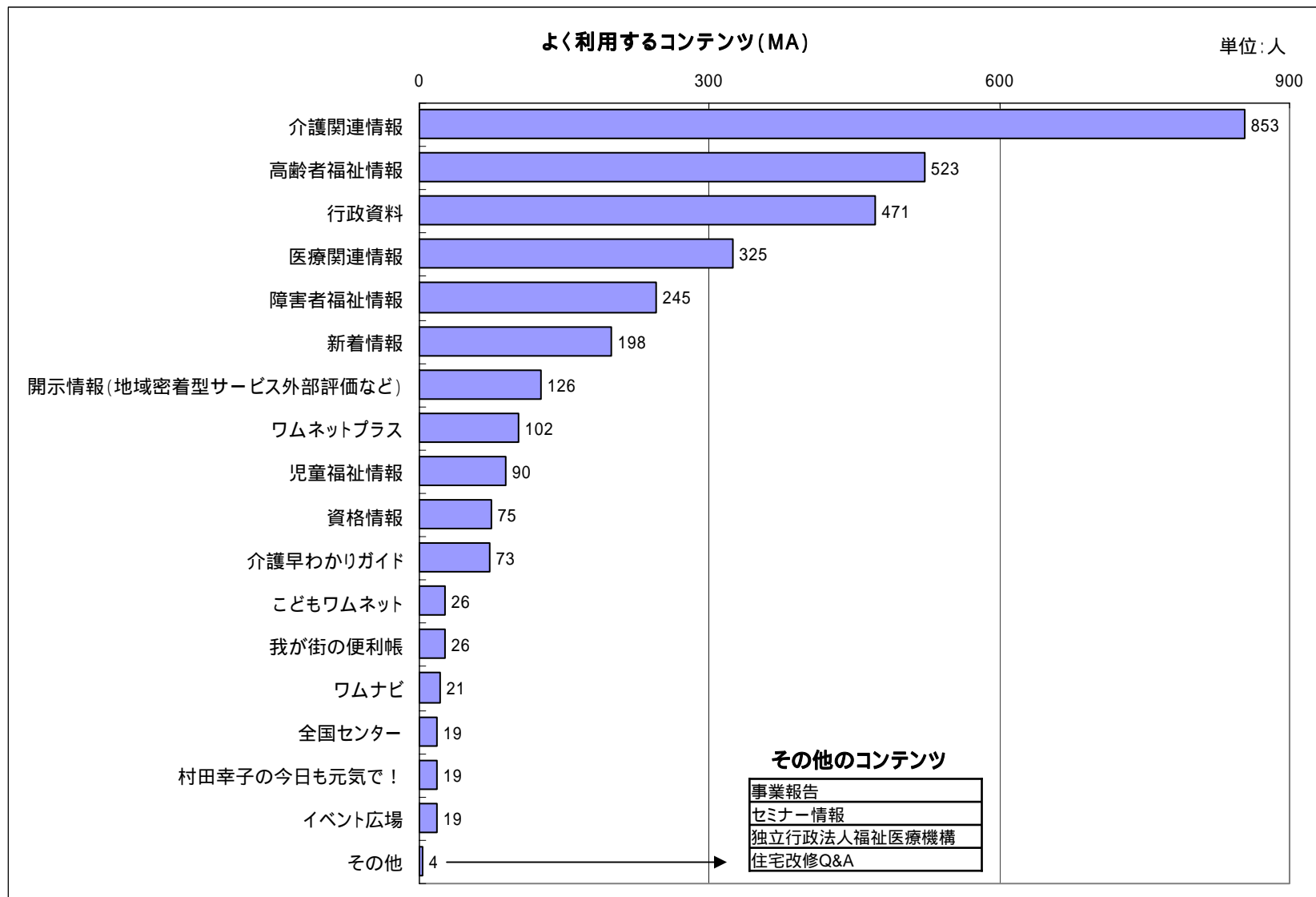
4) WAMNETを知ったキッカケ



その他のキッカケ

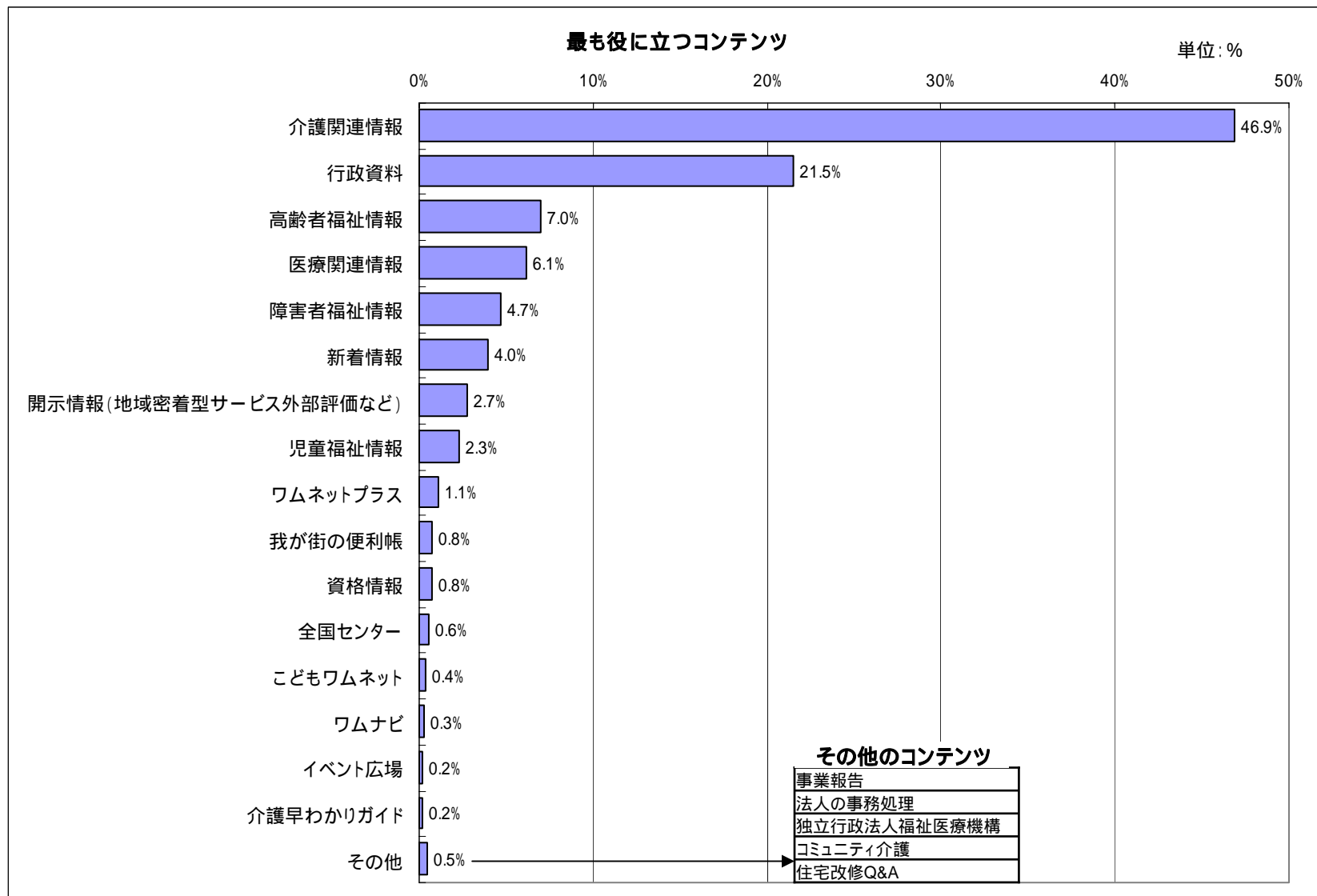
WAMの紹介	研修会で紹介	社内情報
ケアマネ研修で知った。	県老協の紹介	助成情報
以前勤めていたGHで知っていた。	現在の職場に就いたから	障害者自立支援法調査のため
医療経営セミナーに参加して知りました	現在の職場に配属されてから	職場での紹介
家族からの紹介で	作るといった当初の情報	職場の先輩から
介護の営業のため	仕事の関係	職場の同僚から
介護関係の事業所に勤めてから	仕事の上で	他社からの紹介
介護保険業務の一環	仕事上	退職金制度を利用
介護保険施行時、請求事務担当となったため	仕事上、必要だった。	退職手当共済電子化
会社で以前より利用されていた	仕事上の引継ぎで	知人から
会社の上司	立ち上げ時から知っていた	電子申請申し込みで。
会社の先輩から教わって	施設管理者からの紹介	同僚からの紹介
学校の授業で	事務連絡通知で	入社した会社で利用していた
機構からの手紙	社員から	入社時にお気に入りに入っていた
業務上の引継ぎ	社会福祉協議会	入職した時には既に使用していた
業務上必要だったから	社内周知時に上司から	役所

5) よく利用するコンテンツ

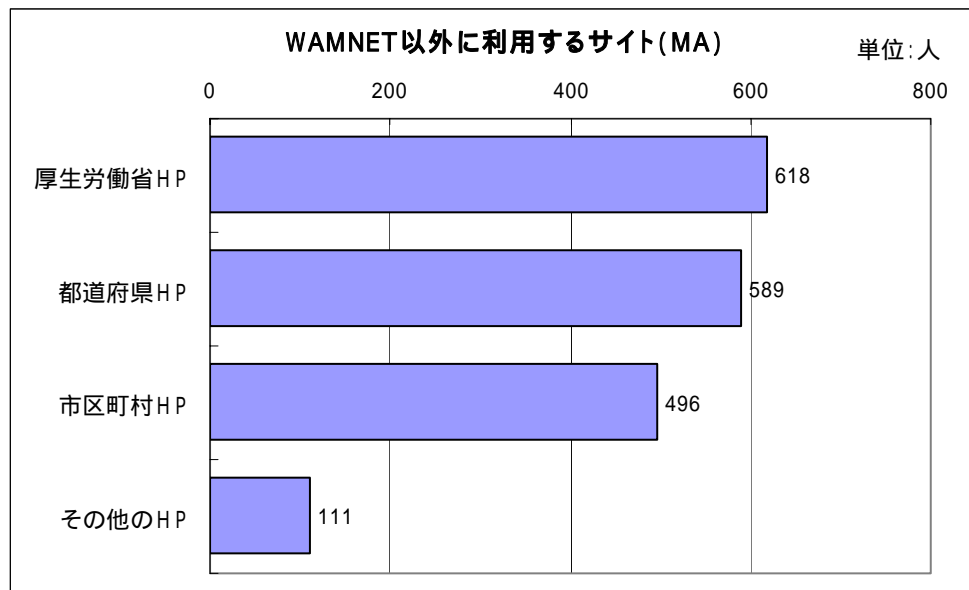


「開示情報(地域密着型サービス外部評価など)」は、当初「開示情報(認知症GH外部評価など)」という選択肢であったが、調査開始後に変更した。集計は変更後のものに統一して取り扱っている。

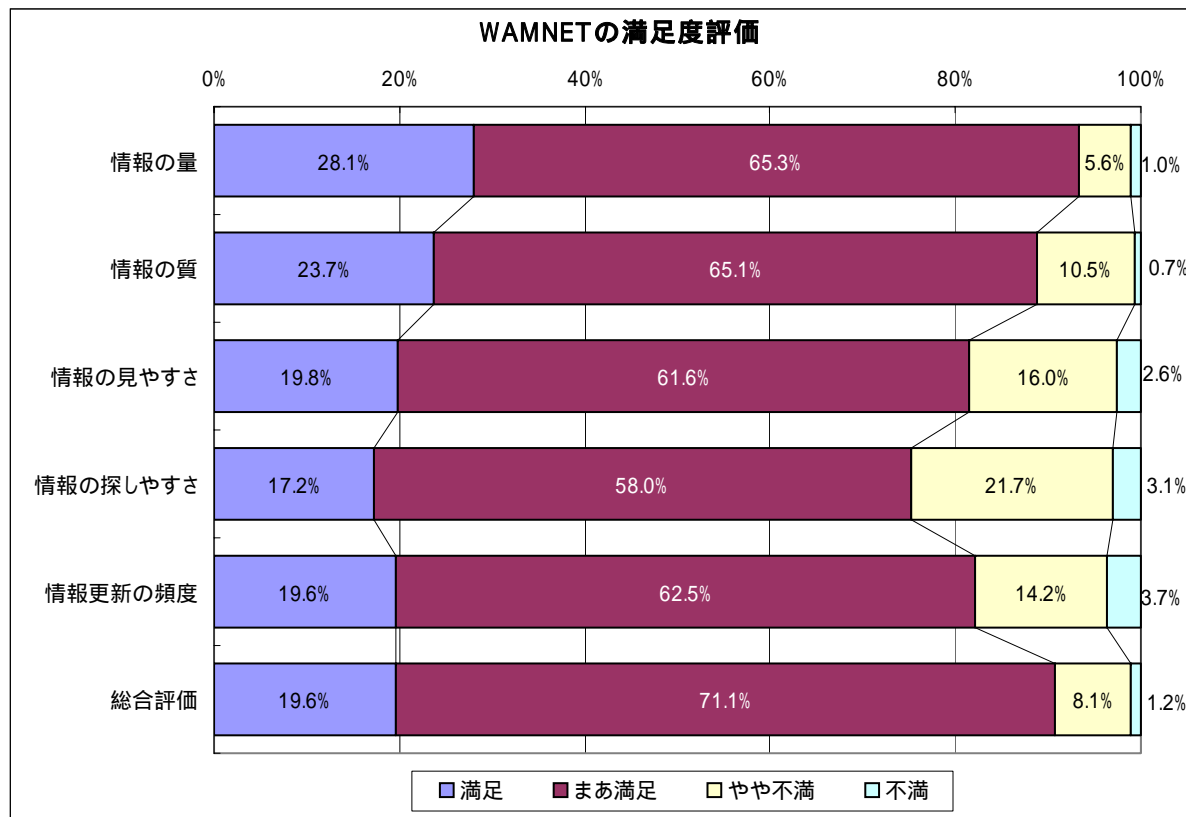
6) 最も役立つコンテンツ



7) WAMNET以外でよく利用するサイト



9) WAMNETの満足度評価



10) 新着情報メールマガジンの利用意向

